

こどもが「学びとる」 授業づくりについて



【 COTENT 】

- 1 こどもが学びとる授業
- 2 授業づくりの変化
- 3 タブレット端末の活用
- 4 授業の実際
- 5 成果と課題

1 こどもが学びとる授業

こどもが学びとる授業とは、
こどもたちが「教わる」から
「自ら学びとる」意識を持ち、
自分で課題を見つけ、他者と
対話しながら解決していく、
こども主体の授業のことです。



2 授業づくりの変化

これまで中心的な「教師主導型の授業」は・・・



説明



確認



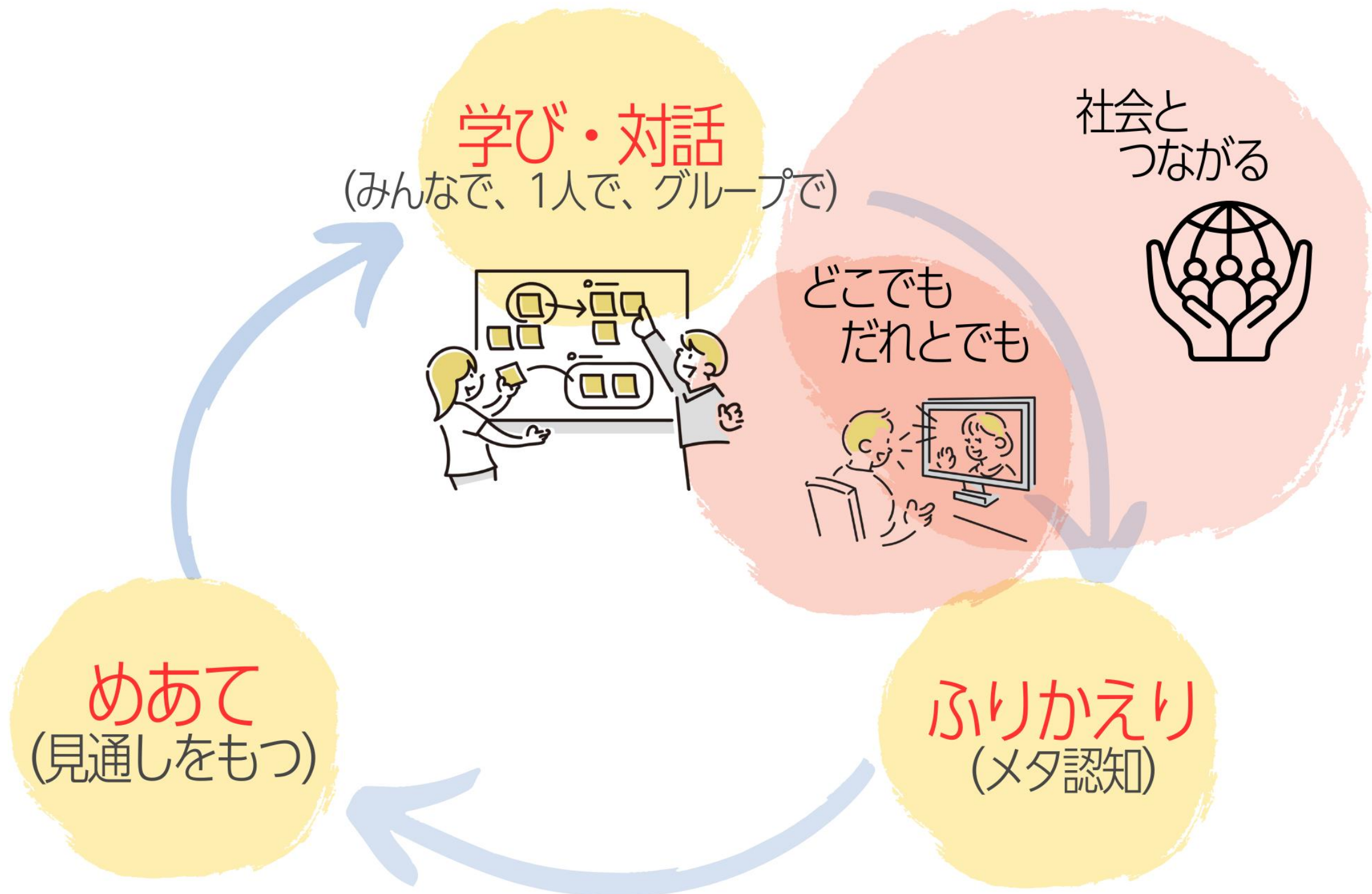
まとめ



教師の説明を聞き、挙手・指名、反復練習等を繰り返しながら理解を深めるスタイルが中心でした。

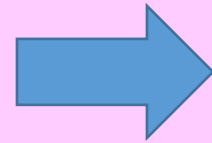
2 授業づくりの変化

これから目指す「学びとる授業」は・・・



2 授業づくりの変化

教師が「教える」



こどもが「**学びとる**」

これまでの授業例

- ・ 先生の話聞く
- ・ 正解を出す
- ・ 板書を写す
- ・ 反復練習



「学びとる」授業イメージ

- ・ 課題を見出す
- ・ 解決のためのプロセスを考える
- ・ 正解のない課題に取り組む
- ・ 納得解を創り出す
- ・ 必要な情報を選んで活用する
- ・ 協働的に学習する



こどもが主体の「学びとる」授業では、こども自ら考え、対話・交流し、自己調整しながら学びを深めるスタイルを目指しています。

3 タブレット端末の活用

基本スキル

情報機器の正しい使い方を知る



映像の撮影や編集を行う



自分の考えを発表する



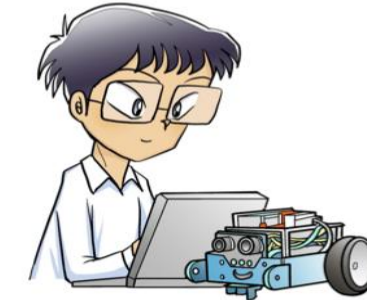
新聞・レポート・リーフレットなどを作る



録音や音楽づくりをする



プログラミングする



探究スキル

わからないことを調べる



思考ツールなどを使って考える



仲間と協力して学びあう



こどもが学びとる授業の中で、タブレット端末の活用は、有効な学びのツール(手段)になります。

4 授業の実際(小学校)

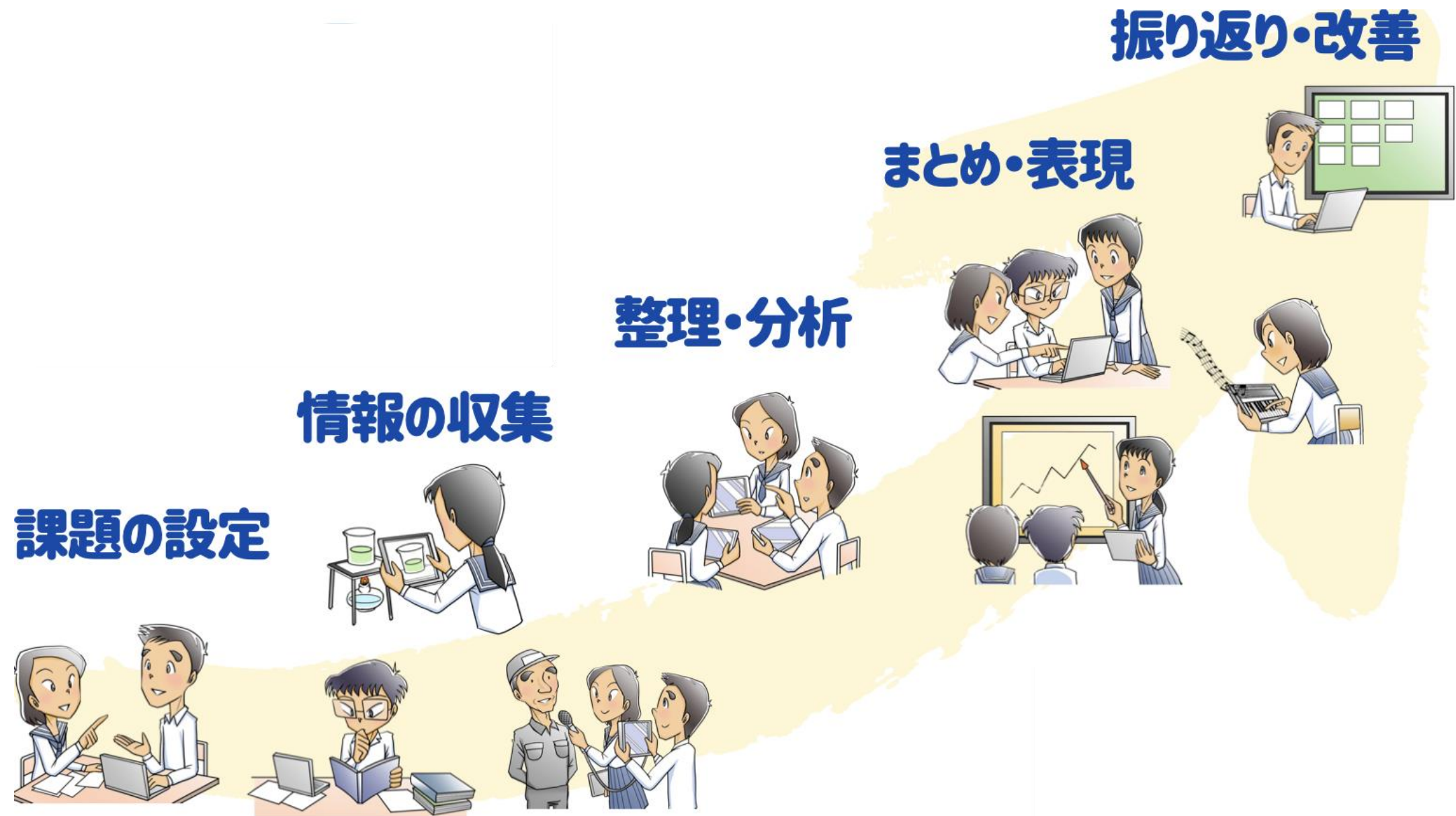
**小学校：社会科
武士の政治が始まる**

4 授業の実際(中学校)

中学校：社会科
日清・日露戦争と近代産業

4 授業の実際

これから目指す「学びとる授業」は・・・



教師は、教えることに加えて、こども一人一人の学びが深まるようにコーディネートする役割を担います。

5 成果と課題

R6 熊本市学力検査 児童生徒の意識調査より

回答結果が全国平均を上回った内容

- ・ グループで話し合いや教え合いをしている。
- ・ 調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。

回答結果が全国平均を下回った内容

- ・ 自分で学習の計画を立てている。
- ・ その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。